

須坂市教育委員会 3月定例会 会議録

1 日 時 2023年3月23日(木) 午後3時00分～午後5時15分

2 場 所 須坂市人権交流センター2階 会議室

3 出席した委員

教育長	小林 雅彦
教育長職務代理者	二ノ宮邦彦
教育委員	土屋 保男
教育委員	水上 智恵
教育委員	山下美知子

4 説明のため出席した職員

教育次長	清水 秀一
学校教育課長	中村 健司
子ども課長	山岸 和美
人権同和教育課長	丸山 絵里
学校給食センター所長	牧 俊彦
文化スポーツ課長	峯村 清一
生涯学習推進課長	寺澤 勝志
主任指導主事	後藤 昭彦
指導主事	宮崎 健
指導主事	北村 雅
指導主事	松木 智子

5 事務局出席職員

庶務係長	小林 貴彦
庶務係	土屋 真由

6 本日の会議に付した事項

1 学校等の状況報告について

2 議題

議案第13号 須坂市教育委員会事務局職員の任免について

議案第14号 須坂市立学校施設開放管理指導員の委嘱について

議案第 15 号 須坂市教育委員会個人情報の保護に関する法律等施行規則の
制定について

3 協議

「教育の窓」

4 一般行政報告

- (1) 教育長出席行事の報告について
- (2) 行事共催等承認の報告について
- (3) 個人情報開示制度運用状況の報告について

5 その他

- (1) 教育委員会行事予定について
- (2) 須坂市教育委員会主催・共催大会等への出席について
- (3) 小・中・支援学校の入学式の出席者について
- (4) 年度末、年度当初の辞令交付等日程について
- (5) その他

教育長が開会を宣した。

1 学校等の状況報告について

教育長が説明を求め、主任指導主事・宮崎指導主事・松木指導主事が説明した。

- ・今年度、ようやくスキー教室が実施できた。その他、スケート教室、薬物乱用防止教室、スマホ・ケータイ安全教室などを実施した学校もあった。
- ・須坂支援学校では、昨年一昨年と休止していたぶれジョブを今年度 12 月から再開。希望者が須坂図書館、中央地域公民館等で毎週 1 回下校後 1 時間程度取り組み、修了式を実施。
- ・中学校の修学旅行は例年 3 学年の 1 学期に実施していたが、コロナ禍等を考慮し 2 学年の 3 学期に実施した学校があった。
- ・終業式と卒業式について、体育館で実施する学校が増えてきた。
- ・学校内での新型コロナウイルス感染症は減少。
- ・市内中学校の進路状況について。3 年生のちょうど半数が市内公立高校に進学。私立高校への進学者は、昨年度より減少。就職者はいなかった。
- ・今年度初めて実施したオンライン国際交流について。小学校では、5 年生を対象に、アメリカ・オーストラリアを結んで英語を使って交流を行なった。アンケート

トでは、英語で話すのが楽しかった、もっと英語を使いたいという声があがった。中学校では、英語に興味関心が強い生徒を対象に、アメリカ・オーストラリアと結んで英語で交流を行った。オンラインで現地のスーパーマーケットと中継で買い物を行い、後日購入した商品が届くというバーチャルショッピングも実施した。参加した生徒の満足感が高かった。来年度も同じ時期に実施していく予定。

- ・教育相談の結果について、今年度は77件あった。

委員：

- ・児童センターは未満児も利用可能なのか。

主任指導主事：

- ・中央児童センターは、平日午後は児童生徒が利用するが、午前中は親御さんと共に未満児の利用もある。

教育長：

- ・市内に4か所児童センターがあり、午前中は親子で利用ができるようになっている。

委員：

- ・副学籍について説明してほしい。

指導主事：

- ・副学籍制度。特別支援学校等の他に地域の学校にも籍を置くことができる。籍を置くと入学式等の行事にも参加ができる。2つの学校を行き来することができる。

教育長：

- ・須坂市は市立の支援学校があるのであまり感じる事が少ないが、通常は県立の支援学校に進学するため、地元と距離感がある。やはり、地元の学校に籍があるということは大事な事と感じる。

2 議題

議案第13号 須坂市教育委員会事務局職員の任免について

議案第14号 須坂市立学校施設開放管理指導員の委嘱について

議案第15号 須坂市教育委員会個人情報保護に関する法律等施行規則の

制定について

教育長が説明を求め、各課長が説明した。特に意見・質問無く、承認された。

3 協議

「教育の窓」について、委員が発表した。

- ・ヤングケアラーについて。昔は、家庭の仕事やお手伝い、きょうだいの面倒を見るのが当たり前だった。
- ・自分自身がヤングケアラーであるという自覚がなく、アンケート等をきっかけに自分がヤングケアラーであるという認識を持つ。高校生が一番多い。

子ども課長：

- ・子どもが家族をケアすること自体が問題ではないが、自覚の有無にかかわらず子どもとして守られるべき権利が侵害されているケースがあるのが問題。
- ・長野県ヤングケアラーの実態調査では、お世話をすることの大変さについて、特に大変さは感じていないと回答している人が多い。ヤングケアラーの認知度については、小学生で「聞いたことがあり、内容も知っている」と回答した人が9.8%もいて意外と認知度が高かった。メディアで広報している結果か。

委員：

- ・実態調査で、ヤングケアラーと思われる児童生徒学生の有無とその状況とあるが、どのように気が付くのか。本人から申告がないと気づかないのではないか。

子ども課長：

- ・困っている様子が表面に出ていて、相談としてつながっていくケースがある。

主任指導主事：

- ・ヤングケアラーについては、子ども課から情報をいただいたりして、各学校に子ども達の状況を確認するよう依頼した。親から家事をお願いされて、それが嫌だから自分はヤングケアラーだと回答した子ども達が非常に多かった。反対に、本当に深刻な状況の子ども達は、自分がヤングケアラーとは回答しない。
- ・支援が必要な児童に関しては、会議等を行い家庭の状況を確認しながら対策を検討している。学校側ではヤングケアラーかと思われたが、調べてみると福祉関係の支援をだいぶ受けているといったケースもあった。一件ずつ丁寧に検討をするようにしている。

- ・市内のヤングケアラーの事例について報告。

委員：

- ・ヤングケアラーは線引きが難しい。外からも見えない。
- ・手伝いが嫌だからヤングケアラーと回答している子との見分けはどうすればいいのかが課題。

4 一般行政報告

(1) 教育長出席行事の報告について

教育長が主だった出席行事について説明した。

(2) 行事共催等承認の報告について

教育長が説明を求め、学校教育課長が説明した。

- ・共催事業 1 件、後援事業 10 件、うち新規 2 件

(3) 個人情報開示制度運用状況の報告について

教育長が説明を求め、学校教育課長が説明した。

5 その他

(1) 教育委員会行事予定について

教育長が説明を求め、各課長等が説明した。

(2) 須坂市教育委員会主催・共催大会等への出席について

教育長が説明を求め、学校教育課長が説明した。

(3) 小・中・支援学校の入学式の出席者について

教育長が説明を求め、学校教育課長が説明した。

(4) 年度末、年度当初の辞令交付等日程について

教育長が説明を求め、学校教育課長が説明した。

(5) その他

教育長が説明を求め、学校教育課長が説明した。

- ・豊丘小学校プール施設の廃止について
- ・入学式における連絡事項の変更について

教育長が閉会を宣した。